

リン吸着バイオ炭によるリン回収および炭素貯留技術の実証事業

事業実施者

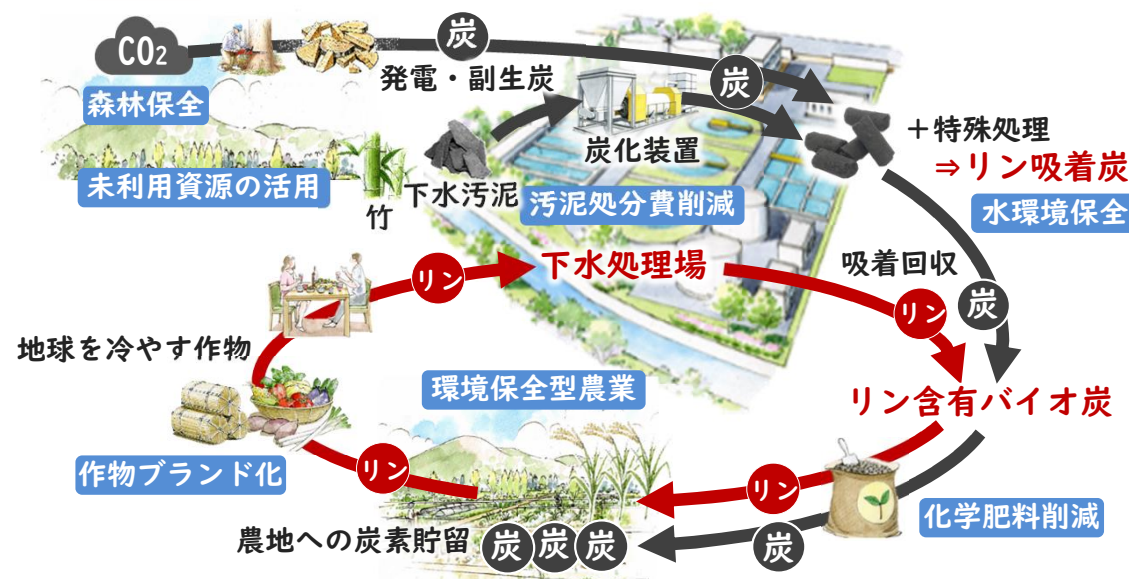
(株)フジタ・住友重機械エンバイロメント(株)・東北大学・国際農林水産業研究センター・福山市共同研究体

実証フィールド

広島県福山市 松永浄化センター

実証概要

バイオ炭(バイオマス由来炭化物)を用いて脱水ろ液等からリンを回収することで、より安定的かつ経済的に下水汚泥資源の肥料利用を図る技術について実証する。



提案技術の革新性等の特徴

①高い経済性

- 下水汚泥炭化物の利用(産廃処分費縮減)
- 発電等副生炭の原料利用

②高い汎用性と安定性

- アンモニア濃度に影響を受けない(消化・未消化の脱水ろ液に適用可能)
- 従来よりも低いリン濃度から適用可能

③容易な運転管理

- 遠隔監視による省人化自動システム

④高付加価値肥料の生産

- 臭いの少ないバイオ炭肥料
- リン含有量が高く、散布容易なペレット肥料
- 肥料と土壤改良材を兼ねる高機能資材
- 中性域のバイオ炭(適用農地の拡大)
- 炭素貯留効果を有する肥料(バイオ炭)

